

PRESS RELEASE 2020/10/23

上田 薫

UEDA Kaoru

2020年11月14日(土) - 2021年1月11日(月・祝)
埼玉県立近代美術館

上田薫(1928-)は、写真を使って対象を精巧に描き出す画家です。殻からつるりと落ちてくる生玉子がリアルに描かれた彼の作品を、美術の教科書で見たことがある方も多いのではないのでしょうか。

東京藝術大学で油彩を学び、主に抽象画を制作していた上田は、1956年に映画ポスターの国際コンクールで国際大賞を受賞したことをきっかけに、グラフィックデザインの世界へ足を踏み入れます。それからしばらく絵画制作からは離れますが、1970年に、対象そのものだけを写実的に描く表現—本人曰く、制作に行き詰まったときに頭を空っぽにするための「クソリアリズム」—に目覚めます。

以後、上田は、ときにデザインの世界で学んだことを活かしながら、現実以上にリアルに見える作品を次々と生み出してきました。作品のモチーフの多くは、殻が割られた瞬間の生玉子、スプーンから流れ落ちそうなジャム、水の流れや空など、一瞬で姿を変えるものです。時間と空間とを切り取るその鮮烈な描写は、リアリズム絵画のなかに独自の位置を占めるものとして、高く評価されています。

本展では、これまでまとまった形で紹介される機会の少なかった上田薫の歩みを、大学卒業後から現在までの作品約80点とともに紹介します。時間の流れ、空間のひろがり、そして何気ない日常を驚きに変える上田流「クソリアリズム」の世界を、ぜひ心ゆくまでお楽しみください。

展示構成

第1章 「リアル」の前史

東京藝術大学卒業制作の《自画像》(1954年)から、初個展で発表した抽象絵画、ポスターコンクール受賞作、自らの表現を模索していた1960年代終わりころまでの作品など、最初期の上田薫の活動を振り返ります。

第2章 スタイルの確立

視覚でとらえたものを「ただひたすらリアルに描く」と決意した上田。対象だけを画面いっぱいに拡大して描く上田流リアリズムの出発点である、1970年代前半までの作品を紹介します。

第3章 「時間」を描く

リアリズム絵画に独自の境地を開いた上田は、多様なモチーフを次々と手がけていきます。1970年代には、溶けかかるアイスクリームやスプーンから滴るジャムなどの動くもの、つまり現象を描くことへと関心が移ります。移ろいゆくものの一瞬の姿をとらえる試みから、代表作の《なま玉子》シリーズが誕生しました。

第4章 「光」を描く

作品に「時間」という要素を取り込むことに成功した上田は、次のモチーフに泡やシャボン玉を選び、被膜に映りこんだ周囲の光景や上田自身の姿を克明に描きました。透過や反射、屈曲といった光の性質への関心は、コップやビン、液体、川の流れといった新たなモチーフにつながっていきます。

第5章 素描と版画

上田は水彩画、パステル画、版画も多く手がけています。油彩との関連を考察しながら、表現に対する上田の意識を探ります。

第6章 そして現在へ

2000年代以降の仕事において、川の流れを描いたオールオーバーの構図は、《Sky》シリーズにおける「空」や、静物画のように並んだ玉子の殻といった新たな空間表現へと展開します。また本展出品作の中での最新作は、4点の油彩画。小品ですが、作者自身の手や後ろ姿を描いた興味深い作品です。

開催概要

1. 会期 2020年11月14日（土・県民の日）～2021年1月11日（月・祝）
休館日：月曜日（11月23日、1月11日は開館）および12月28日（月）～1月5日（火）
2. 開館時間 10時～17時30分（展示室への入場は17時まで）
3. 観覧料 一般 1100円（880円）、大高生 880円（710円）
*（ ）内は20名以上の団体料金
*中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い1名を含む）は無料です。
*併せてMOMASコレクション（1階展示室）もご覧いただけます。
4. 主催 埼玉県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
5. 協賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網
6. 協力 上田薫
7. 企画協力 名古屋画廊
8. 広報協力 JR東日本大宮支社、FM NACK 5
9. 出品点数 約80点
10. 会場案内／アクセス

埼玉県立近代美術館

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 9-30-1

電話 048-824-0111 FAX 048-824-0119

<https://pref.spec.ed.jp/momas/>

JR京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分（北浦和公園内）。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約35分です。

当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き）。団体バスは事前にご相談ください。

お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので予めご了承ください。

会期中の催し

1. 担当学芸員によるギャラリートーク
担当学芸員が展覧会の見どころをご紹介します。
日時：11月29日（日）、12月6日（日）、12月13日（日）
各日とも11時00分から30分程度

会場：2階企画展示室
費用：企画展観覧料が必要です。
定員：50名

2. 拡大版スライドトーク

スライドを使って展覧会の見どころをご紹介します。

日時：11月22日（日）、12月19日（土）

各日とも14時00分から30分程度

会場：2階講堂

費用：無料

定員：50名

スライドトークのご案内

上記「拡大版スライドトーク」とは別に、ご希望のグループにスライドを使って展覧会の見どころをご案内します（予約制）。

お問い合わせ、ご予約は教育・広報担当（問い合わせ先：048-824-0110）まで。

新型コロナウイルス感染症防止対策について

- ・ご来館にあたっては、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、ご理解とご協力をお願いいたします。
- ・状況により、休館または会期等の変更の可能性があります。
- ・ご来館前に、当館ホームページで最新情報をご確認ください。

<https://pref.spec.ed.jp/momas/>（問い合わせ先：048-824-0111）

お問い合わせ

展覧会担当：大越、喜多、佐原 / 広報・画像に関するお問い合わせ：真中

電話 048-824-0111（代表） / 048-824-0110（学芸部）

Fax 048-824-0119（代表） / 048-824-0118（学芸部）

広報用画像の提供について

- ・ 画像のご提供については、当館にお問い合わせください。当館から画像をデータにてご提供いたします。ご請求はメールで、kouhou@aria.ocn.ne.jp（広報担当・真中）までお願いします。
- ・ ①から⑤の画像を掲載する場合、下記のとおりキャプションを記載してください。また作品部分のトリミング、文字載せなどはしないようにお願いします。
- ・ ①から⑤の画像の掲載にあたっては著作権使用許諾申請は必要ありません。その他の画像をご希望の場合はご相談ください。

広報用画像

- ① 上田薫《スプーンのジャム A》 1974年 油彩・アクリル、キャンバス 東京都現代美術館蔵
- ② 上田薫《なま玉子 A》 1975年 油彩・アクリル、キャンバス 群馬県立近代美術館蔵
- ③ 上田薫《あわ D》 1979年 油彩・アクリル、キャンバス
- ④ 上田薫《ジェリーにスプーン C》 1990年 油彩、キャンバス 埼玉県立近代美術館蔵
- ⑤ 上田薫《サラダ E》 2014年 油彩、キャンバス

①



②



③



④



⑤

